

# 図書館だより

2018/春号



～利用時間～  
9:00～16:45  
～貸出期間&冊数～  
1週間3冊

卒業した図書委員長の、お薦め！  
「イチオン作家」宮下奈都

## ☆☆ご進級&ご入学おめでとうございませう☆☆

新しい環境には慣れましたか？少しふわふわした気持ちを、本を眺めて落ち着けてみませんか？小説だけでなく、絵本や図鑑、いろいろな本が存在します。新聞や雑誌も置いています。本好きサンも、「本は難しい」と思い込んでる人も、気軽に図書館のドアを開けてくださいな。

## 先生方のオススメ本を読んでみよう！

3月発行の「図書館報」の「私のこの1冊」で紹介した教職員の方のオススメ本を図書館に展示しています。全て借りることができます。読んだら感想を先生に伝えてみてくださいな。

一日じゆう空を見ていた	金子教頭先生	はじめてのパンづくり	植田係長
奈良の「隠れ名所」	奥田先生	いのちのはな	梶先生
かあちゃんなんか大きい	北口先生	「三毛猫ホームズ」シリーズ	桐谷先生
お母さん、ぼくが生まれてごめん なさい	四戸さん	死神の精度	杉井先生
「すぐやる人」と「やれない人」の 習慣	高橋先生	透明人間の納屋	田坂先生
青年は荒野をめざす	千葉先生	小説DESTINY 鎌倉ものがたり	中川先生
メンタルを考えよう	永見先生	裏庭	廣澤先生
風の歌を聴け	益田先生	陽気なギャングが地球を回す	松田先生
砂漠	松村先生	困ってるひと	村島先生
眠れなくなるほど地理が面白く なる本	森田先生	天璋院 篤姫	森本先生
10代にしておきたい17のこと	安井先生	物質と記憶	芳村先生

好きな作家さんを紹介します。  
宮下奈都さんの本は、人が殺されるような非日常的な大事件は書かれていなくて、ただ淡々と日常を書いている本です。これだけを聞くとつまらなさそうに思いますが、いざ手にとって本を読んでいくと、作品に出てくる人それぞれの思いや気持ちが繊細に書かれていて、いつの間にか温かい気持ちになり、本のとりこになってしまいます。自分もその一人で、気がつけば図書室にある宮下奈都さんの本全部をいつの間にか読み終わっていました。

その中でも一番好きな本は『よろこびの歌』という本です。これはどんな本なのかというと——著名なヴァイオリニストを母にもつ御木元玲が、受かると思い込んでいた音大附属高校の受験に失敗、新設女子高に進む。挫折感から、クラスメートとの関わりを拒んでいたはずだったが合唱コンクールの指揮者を引き受けることになり、クラスメートの心が動き始める。そして玲の心も…

この本の好きな部分は玲の立ち位置で、読み手が感情移入しやすい、自分と玲を入れ替え考えたりできる所です。実は『よろこびの歌』には、3年後を書いている『終わらない歌』という続編があります。この2冊は本当におもしろいので、本を好きな人、そうでない人もぜひ手にとって読んでみてください。

最後に、みなさんも宮下奈都のことを好きに、ファンになってください。(H29年度図書委員長)

## 2017年度 貸出ベスト3



1. 『素敵な日本人』 東野圭吾
2. 『小説 君の名は。』 新海誠
3. 『かがみの孤城』 辻村深月  
『蜜蜂と遠雷』 恩田陸  
『マスカレード・ナイト』 東野圭吾  
『ツバキ文具店』 小川糸  
『君の隣をたべたい』 住野よる  
『ちはやふる(35)』 末次由紀

東野圭吾作品らしい意外性と機知に富んだ短編集です。1年前に出版されてから、ゆっくりゆっくりいろんな人が読んで、年間1位に！

昨年度は一作品に集中することなく、ミステリー、恋愛小説、青春モノ、広く、「映画やドラマの原作本」が人気の1年でした。

## 情報収集は図書館で！

図書館では「関西ウォーカー」、「オレンジページ」、「Yellスポーツ奈良」、「ニュートン」の4誌、朝日、奈良、読売新聞、また読売中高生新聞、アサヒウィークリー(英字新聞)も読むことができます。